

学びのドリームプラン 海田南小学校

第1学年2組 図画工作科

単元名：ぼくたち みんな イラストレーター！
「みてみて おはなし」

指導者 遠藤 康平

児童の願い

見た人が、自分が書いた昔話をもっと読みたくなるようにしたい。



ゴール

自分が書いた昔話をもっと読みたくなるような表紙の絵を描く。

本単元で付けたい力

- ・昔話を書いて感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すことができる。
【A表現(2)ア】
- ・友達の昔話を読んで感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができる。
【B鑑賞(1)イ】

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・自分が書いた昔話をもっと読みたくなるような表紙の絵を、工夫して描こうとしている。	・自分が書いた昔話をもっと読みたくなるような表紙の絵を描こうとしている。
【思考力】	・自分が書いた昔話から想像を膨らませ、どの場面を表紙の絵に表せばよいか、形や色を工夫しながら考えている。	・自分が書いた昔話から想像を膨らませ、どのような表紙の絵を描けばよいか考えている。
【自己理解】	・表紙の絵を描いたことによって、自分の昔話がより読みたくなるようなものになったことに気付き、表紙以外にも絵を描きたいと感じている。	・表紙の絵を描いたことによって、自分の昔話がより読みたくなるようなものになったことに気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程（全5時間）

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>国語科（1月）</p> <p>○「おはなしを つくろう」の学習で、自分だけの昔話をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ももたろう」「マッチウリの少女」「おむすびころりん」「さるかに合戦」の話を基にして、人物や展開を新しく考えて、自分だけの昔話をつくる。 	
<p>課題の設定・情報の収集（1）</p> <p>○国語科「おはなしを つくろう」の学習を振り返り、自分が書いた昔話の面白さを伝えるような表紙の絵を描こうという思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語の表紙から内容を想像したり、どの本が読みたいかを考えたりすることで、表紙の絵の必要性に気づき、学習の見直しをもつ。 <p>○どの場面を表紙の絵にすれば、読む人が面白そうと感じてくれるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や物語の表紙から、主要な場面が表紙に描かれていることに気付く。 ・ワークシートを用い、自分が表したい場面を理由を付けて考える。 ・友達同士で話し合い、どの場面を表紙の絵にすればよいか考える。 <p style="text-align: right;">【本時】</p>	<p>主体性 思考力</p>
<p>整理・分析（3）</p> <p>○想像したことを基に、自分が描きたい場面を絵に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公を大きく描いたり、主な登場人物を背景に描いたりして、どのようなお話か伝わるように工夫して表す。 ・自分が描いた昔話に合うように、絵の具を混色して色合いを工夫し、ウェットインウェット（ぼかし）で背景の色を塗る。 	<p>思考力</p>
<p>まとめ・創造・表現（1）</p> <p>○自分が書いた昔話に表紙を付け、友達同士で見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の昔話の内容と表紙の絵を見て、形や色、表し方の工夫を見付け、発表する。 <p>振り返り（1）</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混色で色合いを工夫することで、自分の書いた昔話の雰囲気合った絵を描くことができることに気付く。 ・表紙の絵を描いたことによって、自分の昔話がより読みたいくなるようなものになったことに気付く。 	<p>思考力 自己理解</p>